

第2回千葉市幼児教育シンポジウム アンケート集計結果

1 日時等

平成30年7月1日(日) 13:30~17:00

千葉市生涯学習センター(千葉市中央区弁天3丁目3番7号)

2 回答状況

参加者数	回答対象	回答数	回答率
273	244	225	92.2%

※回答対象者は、招待者29名を除いた数

<アンケート調査結果>

1 勤務先及び役職について

勤務先	人数	人数		
		管理者	管理者以外	未回答
私立幼稚園(認定こども園)	32	16	15	1
民間保育園(認定こども園)	48	22	24	2
公立保育所(認定こども園)	134	18	114	2
市立小学校	7	2	5	0
その他	3	0	0	3
未回答	1	0	0	1
計	225	58	158	9

2 基調講演について

設問	大変わかりやすかった	わかりやすかった	少し難しかった	大変難しかった	どちらと見えない	未回答	計
講演の内容はわかりやすかったか	27.6%	61.8%	7.6%	0.4%	1.3%	1.3%	100.0%

3 事例発表について

設問	大変わかりやすかった	わかりやすかった	少し難しかった	大変難しかった	どちらと見えない	未回答	計
発表内容はわかりやすかったか	36.4%	55.1%	3.6%	0.0%	2.7%	2.2%	100.0%

4 パネルディスカッションについて

設問	大変わかりやすかった	わかりやすかった	少し難しかった	大変難しかった	どちらと見えない	未回答	計
パネルディスカッションは有意義だったか	44.4%	42.2%	0.4%	0.0%	1.3%	11.6%	100.0%

5 シンポジウム全体について

設問	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	未回答	計
幼児教育や新要領・新指針に対する理解が深まったか	48.4%	44.0%	1.3%	0.0%	6.2%	100.0%
幼保小連携・接続に対する理解が深まったか	54.7%	39.1%	0.4%	0.0%	5.8%	100.0%
小学校との交流活動を実践してみようと思うか	63.1%	29.3%	0.9%	0.0%	6.7%	100.0%
千葉市版アプローチカリキュラムを活用してみようと思うか	60.0%	31.6%	0.9%	0.4%	7.1%	100.0%

<参考>

記述式主な回答

2 基調講演について

○幼保と小学校の違いに気づくことができ、その違いがあるからACが必要であることが理解できた。
○10の姿は0歳児から青年期まで続く。今回は小学校接続ということで、3、4、5歳、特に5歳後期からの事例であり、参考になったが乳幼児期の大切さも確認することができた。
○新要領からの5領域についてわかりやすく変化した部分について知ることができた。小学校の先生の考えること、考え方、捉え方に触れる機会があり、話し合うことができたなら楽しく学びにつながるのだろうなと感じた。
○幼保小のつながりをあまり意識していなかったが、今後はもっと考えていかなければいけないと感じた。

3 事例発表について

○指導計画の書式を分かりやすく工夫することで、幼児の終わりまでに育てほしい姿が見えやすくなることは参考となった。
○月案の中への10の姿の入れ込み方は具体的に園での取り組みが分かった。
○小学校との連携が子ども、職員、保護者に全て継がっていくことを改めて感じた。
○小学校との交流が重要だと分かりつつ何をしたら良いのか分かっていなかったが、子ども同士だけでなく、教師間でのやりとりも大切だと改めて感じた。

4 パネルディスカッションについて

○小学校との交流の大切さと再確認できた。園に帰って早速小学校に連絡を取ってみようと思う。
○幼保小の連携について受け身になっていると話を聞き同じように思った。子どもの話もよく聴き、遊び、姿を把握し、主体的に動けるよう意識を持ち、連携を図って交流を持てるようにしていきたい。
○幼保側が積極的に小学校へとアプローチすることの大切さを実感した。
○実際に小学校側の意見を聞くことができたので、保育園で取り組んでいることが合っているのか、小学校側は何を求めているのか現実的な部分を聞いてよかった。アプローチカリキュラムには両者のことを踏まえていくことが大切だと改めて知ることができた。

5 シンポジウム全体について

○接続を切り口に保育の質が語られたことに価値を感じた。子どもたちと共に幼保の職員と教員も主体的に進めていかなければならないと思った。質の向上は目先のことではなく学校へ行ってから成長していくことを見据えて協力していかなければならないと思う。
○自分は小学校教諭から保育教諭になったこともあり、それぞれの違いを感じているため、幼保小の連携は難しいことだと思うが、子どもたちのためと考えて、保育の見直しや小学校との交流などを行っていければと思う。幼保小が一緒に学べるような研修の機会が増え、話ができるような場ができるような場ができればよいと思った。
○自分の保育を改めて振り返る良い機会になりました。自園でも小学校と様々な交流を行っているが、今後もっと交流を深めていけると良いと思った。自分自身もっと子どもたちを信頼し、子どもたちの可能性を広げていけるように関わっていきたくと思った。
○今まで幼少連携について具体的に考える機会がなかったので、理解を深めることができ良かった。今後子どもの姿と10の姿を照らし合わせながら保育していきたいと思った。